

## はじめに

岡山県は、緑豊かな中国山地、多島美で知られる瀬戸内海、良質で豊かな水をたたえる三大河川など、豊かな自然環境を有しています。この恵み豊かなふるさとの環境は、私たちのかけがえのない宝物です。

これらを守っていくためには、私たち一人ひとりが、環境問題を自らのこととしてとらえ、身近なところから取り組み、その輪を広げていくことが何よりも大切であり、それらの礎となる環境学習を推進していくことが重要です。

環境学習の重要性に対する意識が高まる中、我が国では平成15年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境の教育の推進に関する法律」が施行されました。本県でも平成20年2月にそれまでの岡山県環境基本計画を全面的に見直し、新たに策定した新環境基本計画「エコビジョン2020」の中で、環境学習の推進を重要な施策と位置付けています。

環境学習を推進するためには、単に知識として理解するだけでなく、体験を通して環境を大切に思う心を育み、自ら進んで行動する「人づくり」が重要です。そして、一人ひとりの行動を家庭や学校、地域、職場などに広げ、「協働」して環境保全の取組を進めていく必要があります。

こうした考え方に立ち、私たちが環境との関わりについて理解を深め、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を実践していくための指針として、「岡山県環境学習の進め方」を作成しました。

この「岡山県環境学習の進め方」は、環境学習や環境保全活動を進める上で、県民の皆さんをはじめ、学校、活動団体、事業者、行政などの各主体が共有すべき基本的な考え方や目標についてまとめています。また、方策例や取組事例、行動へのヒントも加え、手引き書としても利用できるよう工夫しています。

岡山県では、「より良い環境に恵まれた持続可能な社会」を目指し、県民の皆さんをはじめ、地域やNPO、事業者などの方々と協働した環境保全の取組を一層進めていきます。環境問題は特定の専門家や興味のある人だけの活動で解決するものではありません。環境問題の解決に向けた原動力は、県民の皆さん一人ひとりの環境を大切にする「心」と、自ら実践する「行動力」です。美しく豊かな本県の環境を次の世代に引き継いでいくために、この「岡山県環境学習の進め方」が有効に活用され、生活の場や地域で自発的な活動が、ますます盛んになることを心から期待しています。

平成21年2月

岡山県知事 石井正弘